

低所得者の介護保険料

Q 町独自の保険料軽減について、
現在どのように検討しているのか

A 正確な負担能力を判断しないままの
負担軽減は、不公平を招く



瀧 すみ江 議員



愛知川幼稚園の廊下にある水道

問 現在、幼稚園・小中学校の廊下の水道で、主にハンドル式を使用しているのは、愛知中学校と愛知川幼稚園と把握している。愛知中学校は予定されている校舎整備事業において「廊下はスイングレバー式で対応する」との説明である。
ハンドル式は、洗う前に手でさわり、手洗いた後に同じハンドルを持って止めるのが衛生的ではない。愛知川幼稚園の水道をレバー式か自動にすることを求める。

愛知川幼稚園の水道

問 現在、幼稚園・小中学校の廊下の水道で、主にハンドル式を使用しているのは、愛知中学校と愛知川幼稚園と把握している。愛知中学校は予定されている校舎整備事業において「廊下はスイングレバー式で対応する」との説明である。

問 「第7期高齢者保健福祉計画および介護保険計画」の進捗状況
平成30年2月28日付の答申書の「要望事項①」は、「毎年度末に進捗状況を介護保険運営協議会に報告して上で点検評価を受け、その結果を町広報紙かHPを通じて住民に公表すること」である。
第7期計画第1年度（平成30年度）において「事業実施における進行管理と点検・評価および公表の徹底」を実施したと認識しているのか。また第7期計画第1年度における進捗状況について、運営協議会による十分な点検・評価をしていただくために、行政が行うべきことは何か。

「第7期高齢者保健福祉計画および介護保険計画」の進捗状況

問 平成30年2月28日付の答申書の「要望事項①」は、「毎年度末に進捗状況を介護保険運営協議会に報告して上で点検評価を受け、その結果を町広報紙かHPを通じて住民に公表すること」である。

愛知川公民館の今後の方針について

問 公民館は、単なる貸館的な施設ではなく、地域住民の日常生活に密着し、総合的な社会教育施設である。運営、有り方などについて問う。

愛知川公民館の今後の方針について

答（教育次長）
愛知川公民館の廊下の水道は、ハンドル式を一部スイング式にした。その他については、当時幼稚園と協議し、ハンドルを回して水が出ることを園児が日常の園生活で学んでいるので、変更は行わない。

グラウンドデザインの計画のなかに、トイレ改革とバリアフリーを

答（企画担当政策監）
愛荘町の持続可能な未来のために、トイレ改革や公共施設等のバリアフリー化を含む社会課題の解決に向けた視点を前提に、グラウンドデザインを策定していきたいと考えている。

宇曾川グラウンドゴルフ場に仮設トイレの設置を

いと考える。

答（教育次長）
利用者の状況やニーズ等を踏まえ、全体の優先順位を検討、整理していきたい。現状、宇曾川右岸にはグラウンドゴルフ場用の駐車場に男女別に区分された洋式トイレが整備されており、そちらを利用していきたい。



愛知川公民館

域住民の日常生活に密着し、総合的な社会教育施設である。運営、有り方などについて問う。

地域のまろごと活性化プランについて

問 この事業を進めるためには、地域が主体となり、10年先を見据えたプランを作成し、各自自治会で取り組む事は大変重要である。しかし、このプランに戸惑いがあるのも事実だ。区長、副区長等は身近な日々の課題が多くなかなか取り組む事が困難な現状だ。町内自治体の規模の差も大きく、課題も違う。各自自治会でプラン策定委員会を立ち上げ各種団体と若い人達で議論をして行くことを求める。

（まちづくり協働課長）

答（教育次長）
利用低下の一因である設置目的に由来する利用制限等の課題を踏まえつつ、公民館と町民センターのあり方について整理していく。
人生100年と言われる今、今後の生涯学習の充実に向けて検討し、「人が輝き、人が育つ、学び」となるような内容を充実・発展させていきたい。

（福祉課長）

答（福祉課長）
介護保険運営協議会において、建設的な提案を行ってもらうため、①ポイントを明確にした分かりやすい資料作成と②専門用語をあまり用いず、噛み砕いた詳細な説明の心がけの2点を会議方針とするとともに、委員会開催前に各委員に資料を配布し、事前に質問を伺うなどの取り組みを開始した。

（福祉課長）

問 町独自の保険料軽減に向けた検討・取り組みを進めることについて、現在どのように検討しているのか。

答（福祉課長）
要因は、「ライフスタイルの変化・老化抑制・運動機会の増加」である。

答（福祉課長）
10月1日からの消費税増税に伴い、国の「低所得者への保険料軽減」の方針が示された。こうしたなかで町独自の更なる軽減を行えば、正確な負担能力を個々具体的に判断しないまま負担軽減を行うことになり、不公平を招くと考える。

愛荘町の高齢者人口構造は、団塊の世代が後期高齢者を迎える時よりも少し遅れてピークを迎えると見込まれ、一気に認定者が増加する前兆と考える。不測の事態に備え、ある程度の基金は保有する必要がある。第8期計画の策定委員会において、基金の取り崩しによる保険料の上昇抑制について協議していただく。

トイレ改革とバリアフリーについて

Q 公共施設の洋式トイレ化とバリアフリー化の対策は

A 長寿命化など施設の大規模改修に合わせて取り組む



村田 定 議員

公共施設のトイレ改革について

問 多くの町民が利用する公共施設は従前の和式トイレが多く、高齢者、障がい者にとって大変苦痛であり、洋式トイレ化を求める。

（総務担当政策監）

答（総務担当政策監）
公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化など施設の大規模改修に合わせてトイレを洋式化することを基本としているため、今後施設改修に応じてトイレの洋式化にも取り組む。

公共施設のバリアフリー化の改革について

問 バリアフリー対策が進んでいない施設の対応について

（総務担当政策監）

答（総務担当政策監）
バリアフリーやユニバーサルデザインの議論については、それぞれの施設の大規模改修に合わせて一定議論してきた。今後は、既存施設の福祉性の確保による利便性向上など、公共施設等総合管理計画に基づき、取り組んでいきたい。

宇曾川グラウンドゴルフ場に仮設トイレの設置を

いと考える。

答（教育次長）
利用者の状況やニーズ等を踏まえ、全体の優先順位を検討、整理していきたい。現状、宇曾川右岸にはグラウンドゴルフ場用の駐車場に男女別に区分された洋式トイレが整備されており、そちらを利用していきたい。

グラウンドデザインの計画のなかに、トイレ改革とバリアフリーを

答（企画担当政策監）
愛荘町の持続可能な未来のために、トイレ改革や公共施設等のバリアフリー化を含む社会課題の解決に向けた視点を前提に、グラウンドデザインを策定していきたいと考えている。

愛知川公民館の今後の方針について

問 公民館は、単なる貸館的な施設ではなく、地域住民の日常生活に密着し、総合的な社会教育施設である。運営、有り方などについて問う。

人生100年と言われる今、今後の生涯学習の充実に向けて検討し、「人が輝き、人が育つ、学び」となるような内容を充実・発展させていきたい。

（福祉課長）

答（福祉課長）
介護保険運営協議会において、建設的な提案を行ってもらうため、①ポイントを明確にした分かりやすい資料作成と②専門用語をあまり用いず、噛み砕いた詳細な説明の心がけの2点を会議方針とするとともに、委員会開催前に各委員に資料を配布し、事前に質問を伺うなどの取り組みを開始した。

問 町独自の保険料軽減に向けた検討・取り組みを進めることについて、現在どのように検討しているのか。

答（福祉課長）
10月1日からの消費税増税に伴い、国の「低所得者への保険料軽減」の方針が示された。こうしたなかで町独自の更なる軽減を行えば、正確な負担能力を個々具体的に判断しないまま負担軽減を行うことになり、不公平を招くと考える。

愛荘町の高齢者人口構造は、団塊の世代が後期高齢者を迎える時よりも少し遅れてピークを迎えると見込まれ、一気に認定者が増加する前兆と考える。不測の事態に備え、ある程度の基金は保有する必要がある。第8期計画の策定委員会において、基金の取り崩しによる保険料の上昇抑制について協議していただく。